

様々なタイプの学校・学科について

- 1. 中高一貫教育校について 1
- 2. 国際バカロレア認定校等について 2
- 3. 外国人生徒に係る特別定員枠について 3
- 4. 全国募集について 4
- 5. 県立高校のあり方に関するアンケート調査結果 5

1. 中高一貫教育校について

中高一貫教育は、生徒や保護者が、これまでの中学校・高等学校に加えて、6年間の中高一貫教育も選択することができるようにすることにより、中等教育のより一層の多様化を推進するものとして、平成11年4月から制度化されている。

【福井県立高志中学校・高等学校】（併設型）

《特色ある取組み》

中学校

- ・ 平日に7限目授業を実施。週32～33時間
- ・ 学校設定科目「英語表現技術」（ALT単独による授業）、「論文基礎」（論文作成の基礎を学び、卒業論文を作成）を実施

高等学校

- ・ 興味・関心、進路希望に応じて科目を選ぶ進学型単位制教育課程を実施しており、多様な選択肢の中から、自分の進路実現のために必要な科目を選択することができる。
- ・ SSH、SGHにおいて、地元の大学教授や企業人をメンターとして招聘
- ・ 海外研修等を通して国際感覚を醸成（海外8コース、国内2コース）

《成果》

- ・ ふるさとへの誇り、グローバルな視野、チャレンジ精神を高めるのに役立つ。
- ・ 1・2期生の99.3%、3期生の100%が中学校3年までに英検準2級以上を取得
- ・ 全国高校生ディベート選手権団体準優勝等、英語関係各種大会等で好成績

【茨城県立水戸第一高等学校・附属中学校】（併設型）

《特色ある取組み》

- ・ 総合的な探究の時間に、中学生と高校生の混成グループで探究活動を実施
- ・ 複数の学校行事を附属中学と高校が一緒に実施
- ・ ICT機器（タブレット及び電子黒板）を活用した教育効果の高い学習指導
- ・ 中学校では、中高一貫用の教材を補助教材に使用
- ・ 高校は単位制（2学期制）。医学部進学コースを設置

《成果》

- ・ チャレンジ・プロジェクトとして、海外への生徒派遣、文理融合・横断的な講座の開設、困難な課題への挑戦心を育む講演会等を実施している。
- ・ 和が4になる2学年（高1と中3、高2と中2、高3と中1）を3階建て校舎の同じフロアに配置し、生徒同士の日常的な交流を促進。例えば、中1生は、同じフロアの高3生の背中に日々学んでいる。

2. 国際バカロレア認定校等について

国際バカロレア (IB) とは、課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業により、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラム。高校レベルのディプロマ・プログラム (DP) では、国際的に通用する大学入学資格 (IB 資格) が取得可能であり、世界の大学入学者選抜で広く活用。

【滋賀県立虎姫高等学校】

1 学年 5 学級 (普通科)

※ 2 年次よりディプロマ・プログラム (DP) の選択が可能
(最大 20 人)

《特色ある取組み》

- ・ 西日本の公立高校としては初めて DP に認定。令和 3 年には、米国ウェスタン・ミシガン大学との間で生徒の進路に関する協定を結ぶなど、海外の大学への進学サポートを実施。
- ・ 平成 24 年度から、SSH 研究指定を受け、10 年間にわたり理数系探究教育の研究開発に取り組んでいる。すべての生徒を対象とした探究型の理数系教育を推進。

【宮城県立仙台二華高等学校】

1 学年 6 学級 (普通科)、中高一貫校 (中学部定員 105 名)

※ 2 年次よりディプロマ・プログラム (DP) の選択が可能
(最大 25 人)

《特色ある取組み》

- ・ 東北の公立高校では初めて DP に認定。
- ・ 国際関係・リベラルアーツではなく、海外大学の通常の学部・学科 (医・工・農・経済等) 進学を目指す。
- ・ S GH 指定校 (平成 26~30 年度) の頃から「世界の水問題への解決」に関する課題研究を行っており、海外での活動や学びに意欲的な生徒が多い。
- ・ 「課題研究」では全員が企業や大学等との外部連携を必須としている。



(バカロレア棟教室)



(ディスカッション用の多目的教室)



(可動式ホワイトボード)

3. 外国人生徒に係る特別定員枠について

公立高校(都道府県立高校)の外国人生徒に係る特別定員枠の状況(令和5年9月本県調査)

※調査対象の「外国人生徒」は外国籍生徒とし、海外帰国生徒は調査対象外。

(1) R5年度までの入学者選抜で導入している実施団体・・・18団体

	R 3		R 4		R 5	
	導入団体数	実施高校数	導入団体数	実施高校数	導入団体数	実施高校数
全日制	18 団体	417 校	18 団体	422 校	18 団体	423 校
定時制	6 団体	34 校	7 団体	37 校	7 団体	51 校

(2) R6年度からの入学者選抜で導入する実施団体・・・3団体

全日制課程		定時制課程	
導入する団体数	特別定員枠を設ける高校数	導入する団体数	特別定員枠を設ける高校数
3 団体	44 校	2 団体	11 校

(3) 入学者選抜の状況・・・R6 実施 21 団体

・学力検査の検査教科の軽減	14 団体
・学力検査の検査教科は同一とし、基礎的・基本的な問題を出題	4 団体
・学力検査を実施しない	5 団体
・外国語による回答を許可	3 団体
・問題文の漢字にルビを振る	12 団体
・辞書の持ち込みを許可	1 団体
・学力検査時間の延長	3 団体
・その他(日本語基礎力検査、日本語又は英語のどちらかによる面接・作文など)	9 団体
・特別な措置はしていない	0 団体

4. 全国募集について

公立高校(都道府県立高校)の全国募集の状況(令和5年8月本県調査)

(1) 実施団体<R5年度入学者選抜(以下「R5」)という。>

38道府県で実施

※未実施9都府県(福島県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、愛知県、大阪府、福岡県)

(2) 実施高校数、入学者数、実施高校のうち欠員のあった高校数

R3			R4			R5		
全国募集を実施した高校数	入学者数	欠員のあった高校数	全国募集を実施した高校数	入学者数	欠員のあった高校数	全国募集を実施した高校数	入学者数	欠員のあった高校数
277校	824名	227校	302校	896名	243校	325校	1,025名	269校

(3) 実施団体における寄宿舍等<R5>

①寄宿舍あり(設置主体は道府県以外も含む) …計122校

②寄宿舍なしの場合の全国募集生徒の受入先 ※重複回答あり

・下宿(いわゆるホームステイ)	19団体
・アパート・マンションなど	17団体
・ホテル・旅館・民宿など	2団体
・その他(親戚宅、民間の寮など)	7団体

(4) 実施団体における身元引受人<R5> ※重複回答あり

・学校関係者(PTA会長など)	8団体
・親戚	7団体
・地元自治体関係者(市町村長など)	6団体
・その他(下宿先、親権を代行できる者など)	15団体
・特に定めなし	19団体

5. 県立高校のあり方に関するアンケート調査結果

〔どのような特色を持った高校があれば良いか〕

	中学3年生		中3保護者		高校2年生		高2保護者		卒業生		教育関係者		企業	
	令和4年度	平成17年度	令和4年度	平成17年度	令和4年度	平成17年度	令和4年度	平成17年度	令和4年度	平成17年度	令和4年度	平成17年度	令和4年度	平成17年度
①資格の取得や就職に必要な技能を身に付けることができる	①49.7	① 61.9	①59.6	② 60.9	①51.8	② 50.1	①58.6	② 53.2	②52.9	② 57.9	③39.4	③ 41.0	②38.3	③ 45.0
②大学進学等に必要な学力を身に付けることができる	②45.3	③ 40.5	③44.2	③ 33.1	②44.6	③ 34.7	③43.0	29.2	③46.6	17.8	①59.3	① 46.7	26.8	26.2
③興味・関心や進路希望に対応して、多様な科目を選ぶことができる	③43.8	② 52.8	②54.4	① 61.7	③39.0	① 50.6	②51.0	① 61.0	①54.0	① 66.4	②44.7	39.0	①57.0	② 48.3
④教科の内容を基礎からわかりやすく学ぶことができる	26.9	35.5	12.3	25.1	20.8	27.7	14.8	28.2	17.5	35.1	24.3	① 46.7	14.5	34.3
⑤高度専門職業人（医師、弁護士等）を目指して学習することができる	5.7	7.5	5.4	8.2	4.2	8.7	6.9	9.4	4.8	12.0	5.9	10.5	4.9	19.9
⑥普通教科を中心としながら、専門教科も学ぶことができる	24.6	36.8	31.5	43.7	13.5	25.4	25.5	③ 41.6	18.5	③ 36.7	24.5	36.2	③27.8	① 48.9
⑦学問分野にとらわれない、教科の垣根を越えた学習をすることができる	7.9	—	11.9	—	5.4	—	10.2	—	12.2	—	17.0	—	24.1	—
⑧ICT機器を積極的に活用して学習することができる	10.3	—	14.2	—	10.9	—	13.1	—	16.4	—	14.3	—	15.5	—
⑨国籍等に関わらず、中学校の学習内容から学び直しができる	4.2	—	1.7	—	3.4	—	1.2	—	2.6	—	6.2	—	3.2	—
⑩ほとんどの授業を英語で行うなど、海外留学を目指して学習することができる	5.2	—	5.2	—	3.8	—	7.6	—	6.9	—	5.7	—	4.9	—
⑪地域や企業等と連携した学校外で学習することができる	2.7	—	6.3	—	3.1	—	8.7	—	9.5	—	13.5	—	21.1	—
⑫1年が前期と後期に分かれている2学期制をとっている	3.0	4.0	3.1	7.4	2.2	5.0	2.5	5.5	1.6	5.8	4.9	13.4	3.4	10.3
⑬午前部の部、午後の部など、自分に合った学習時間帯を選ぶことができる	10.9	15.5	4.2	4.4	15.9	21.5	2.1	6.4	4.8	10.4	4.9	4.0	2.9	4.8
⑭中学校と接続していて、継続した教育を受けることができる中高一貫校	5.7	7.7	3.1	8.5	4.4	8.7	3.3	9.0	2.6	8.9	10.2	22.5	6.6	18.6
⑮インターネットなどを利用して、自宅にいても学習することができる	13.9	8.0	12.9	6.0	20.1	11.9	10.3	5.4	11.1	7.7	4.9	4.8	6.6	5.5
⑯その他	0.4	1.1	0.0	0.8	0.7	0.9	0.3	0.7	0.5	0.0	0.8	4.0	2.2	2.2